

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

けが・虫さされ

口や歯のけが

やけど

熱中症

くすりの上手な
飲ませ方

坐薬の使い方
くすりのQ&A

誤飲・誤食

異物の
吐かせ方

事故の予防

応急手当

救急車を
呼ぶとき

救急医療の
ご案内

おう吐

● 次の症状を観察

- 母乳・ミルクの度に吹き付けるように勢いよくおう吐をくり返す
- 血液や胆汁(緑や黄色の液体)混じりのものを吐いた
- 無気力でぐったりしている
- 唇や口の中がカラカラに乾いている
- 12時間以上、何度も下痢をしている
- 半日くらいおしっこが出ていない
- 血便が出ている
- 頭を強く打ったあとに吐いた
- 我慢できないほどの頭痛を訴える

ひとつでもあてはまる

すぐに受診!

(P29 参照)

- 吐き気が治まったあと、水分がとれる
- 元気がある
- おしっこや普通のうんちがしっかり出ている

すべてあてはまる

おうちで様子を見ましょう

症状が改善しない、悪化するようなら、すぐに受診

🏠 家庭での対応と注意点

- 吐き気が止まらないときは家庭薬で抑えずに、早めに受診する。
- 吐いたものをのどに詰まらせないように、寝ているときは身体や顔を横に向ける。
- おう吐後はすぐに食べたり飲んだりせず、30分～2時間ほどお腹を休める。欲しかったからとあげてしまうとまた吐いてしまい、よけいに脱水をひどくしてしまうことがある。

〈水分を与えるときのポイント〉

- ①お腹をしっかり休ませてから、まず水分を与えることから始める。
- ②お茶、湯冷まし、薄めたみそ汁やスープ、乳幼児用イオン飲料をスプーン1杯ずつ(少量ずつ増やす)、10~15分ごとに飲ませてみる。
欲しがらだけ飲ませないこと。
※乳製品、炭酸飲料、かんきつ類は避ける。
- ③おう吐がおちついてきたら、消化の良いおかゆから少量ずつ時間をかけて食べさせる。



★感染症予防に気をつけましょう

- 吐いたものは、次亜塩素酸ナトリウム(台所用漂白剤)などを使用し、すぐに処理する。
その後手洗いをしっかり行う。



〈次亜塩素酸ナトリウム〈市販の漂白剤：塩素濃度約6%の場合〉の作り方〉

消毒対象	濃度	希釈方法
便や吐いた物が付いた床 衣類等の浸け置き	0.1%	1Lのペットボトル1本の水に 20ml

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

けが・虫さされ

口や歯のけが

やけど

熱中症

くすりの上手な
飲ませ方

坐薬の使い方
くすりのQ&A

誤飲・誤食

異物の
吐かせ方

事故の予防

応急手当

救急車を
呼ぶとき

救急医療の
ご案内